

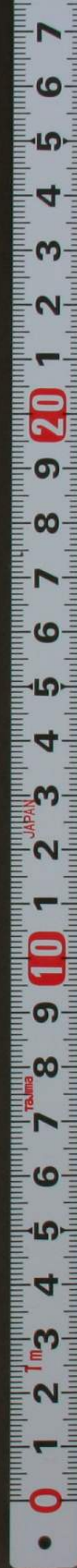
但木土佐傳資料

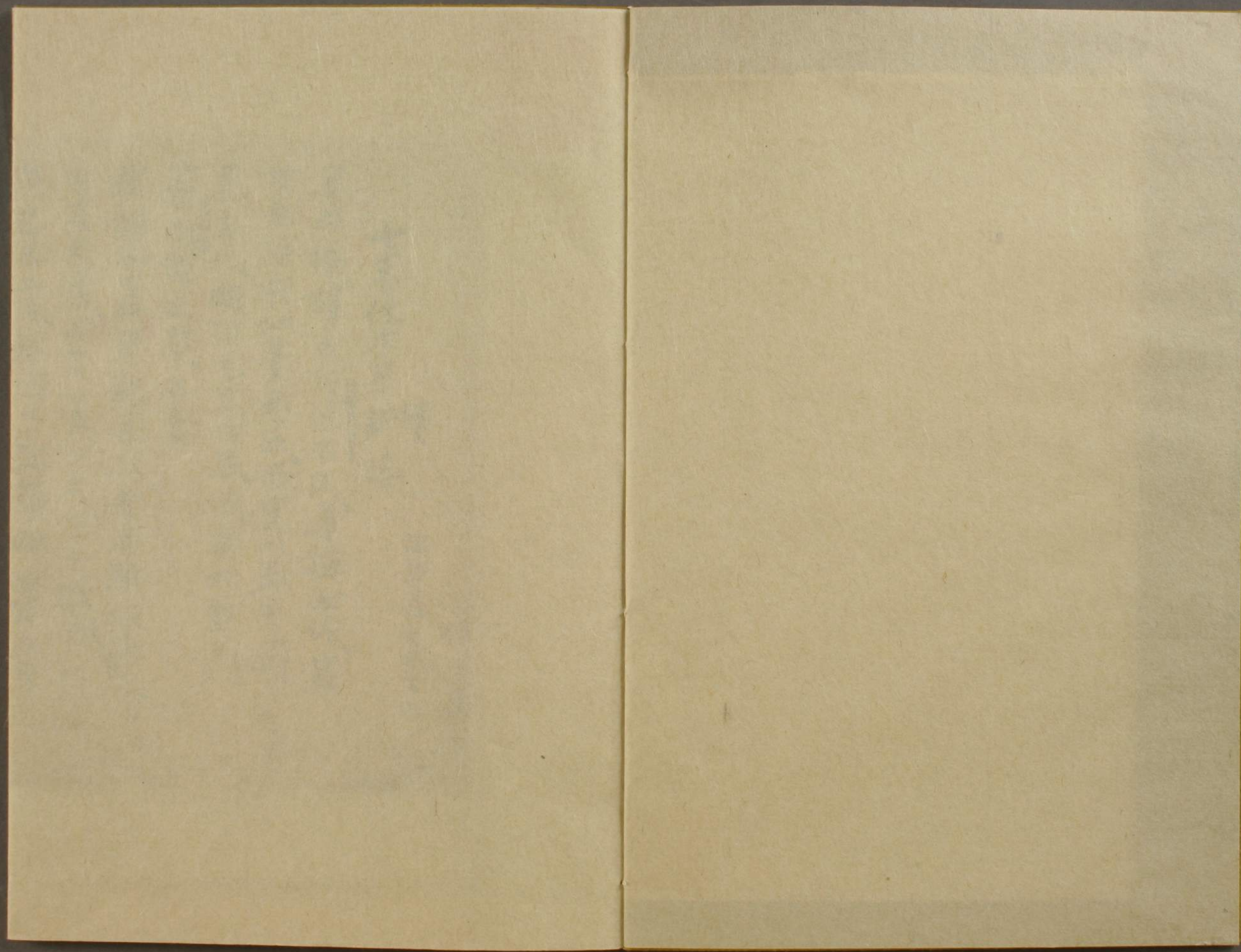
大槻又彦自筆

洋学文庫

文庫 8

A 306







七峯但木君誌

温州府無名風石

君姓橋諱成行但木氏通稱土佐家
 世為陸前仙臺老臣而里川郡吉岡
 邑主也明治元年戊辰依奧羽越列
 藩同盟之舉各蒙
 敕諭當時君執國政共同職坂英女
 坐其首謀同年十月下東京府獄同前
 年己巳二月移囚于茨藩帥同年五月

十九日、賜死於我麻布之御時年五十又
二葬于其東禪寺、私謚曰

鐵心院誠感良史居士

西表危年私謚云、世傳自去傳其法體一合

装

本
二
三



實世

葉上坊上三京

廣防家の息女純姫近

母家の息女トテ世子ニテ取入ト結婚ヲ約ス

聖徳太子の御孫大毛利妻女介、結婚の事ニ但本ヨリ

毛利ニ謝儀モ多クケレハ毛利ヨリ但本ヘ何カ謝セント

ス毛利、古キ歌謡童ヲ妻ニ執ス古銅色ヲナシテ五升入ハ

カリ、由是太閤ノ事ナリトカク、但本毛利ノ宅ニ招カシ

毛利ヨリ、信長ノ事ヲ申シ所シセヨト云、但本辭シテモハ

不問ニ毛利ハ五十餘年、妻妾アリ二十三三三、他美

ナリ酌ニ出ツ、毛利道具ヲ陳列シテ、艱ニ所シテ、色

ル但本ニ再三辭シテ、許サズ、最後ニ、信長ノ事ヲ面目ナカ

君が妾ヲ欲シト云フモ利の悞也夫レモヨシト云フは往レモ
人ナリ世に申ラ能キ者又之ヲ承済ス得テト云但本ノ中
ニテヌフヲ申シテ濟ヌトイヒテハ悞也夫レ 惣テ毛利
但本ヲカヒテ妾本人ノ聞キレバ何カ奥也ト云テ不ナリ
有勢合ニテシテ 御中も不ナリト云フモト云フ是ニ
於テ但本云ハシラハ彼ノ歌ヲトシテ云アリ毛利拒テ
能ハズトテ惣テ 惣テ歌ヲ述リテ見但本一見シ
テテ相テトシテ夫レ 惣テ云フ 妾ヲ是レ
ラレバ 夫レ大朝 大夫カ同ノ勢方ニ云カ夫レ利ノ知ナキニ甚
シ

